

颯爽と

生徒指導部から（1年生へ）

== 未来の花を咲かせるために ==

2026年4月30日

新年度を迎えて、早いもので一ヶ月が過ぎようとしています。季節は進み、まもなく春が極まり夏の気配が立つ頃「立夏」を迎えます。木々の葉は勢いを増し、野山がたくましい命に包まれた姿を見せてくれています。そんなエネルギーは、まさにあなたたちの今の姿と重なります。生命力に満ちあふれ、枝葉をいっぱい伸ばし、たくさんの光を浴びながら、どんどん成長していく『未来の蕾で一杯の今』の姿です。

否定の意味を持つ漢字は、四つあります。「非」、「不」、「無」、そして「未」。「非常識」、「不可能」、「無意味」・・・、否定されるのは、悲しい言葉が多い。

でも、四つの文字の中で、「未」だけは違う。

「未来」、まだ来ない、でも、来るかもしれない。

「未知」、まだ知らない、でも、いつかきっと知る。

否定をしながら、どこかに希望を残している。

パンドラの箱のような「未」という文字。「未」という字にかけてみよう。

「未完成」な私の「未来」に。私は、非でも、不でも、無でもなく、「未」なのだ。

この文章は、学校紹介のために、ある中学校を訪問したとき、生徒向けの掲示板上に書かれていたものです。これを書かれた先生方の「子どもを温かく見守ろうという優しさ」や「子どもたちの可能性を応援していこうという温かさ」など、いろいろな思いが伝わってきます。そんな素敵な文章に心を動かされ、その場でメモに書き取ってきました。



あなた方は、いろいろな人に支えられ、応援され、今を迎えています。そんな人たちとの関係性は、見えやすいものもあれば、見えにくいものもあります。「優しさ」にも、わかりやすい直接的な優しさもあれば、一見、「厳しさ」にしか見えないものが、時間を経てから「自分のためだった」と気づく優しさもあります。

一つだけ自信を持って言えるのは、私たちは、担任の先生を中心として、あなたたちの将来の幸せを真剣に願いながら、今のあなたたちと接しているということです。そのことは、忘れずにいてください。

考えてみよう・・・「かんとん」と「しんどい」



指示されて動くのはかんとん

わがままを言うのはかんとん

なまけるのはかんとん

誰かに頼るのはかんとん

自分のことだけを考えるのはかんとん

決まりをやぶるのはかんとん

みんなを動かすのはしんどい

我慢するのはしんどい

一生懸命がんばるのはしんどい

自分で何かを作り出すのはしんどい

周りの人のことまで考えるのはしんどい

決まりを守っていくことはしんどい



簡単なことをしている人がいれば 誰かがしんどいことを担っている
でも、しんどいことをみんなで少しずつ分け合えば しんどいことは減っていく
あなたはしんどいことを担っていますか？

みんなが過ごしやすい集団であるために、周りへの気配りは大切なことです。

まず、クラスから。そして、学年、学校へ。いずれは街中へ。

「気配り」はたくさんの幸せを生むはずですよ。